

市立大森病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

通常の診療で得られた過去の診療情報や残存検体等を使用して行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得る代わりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開する事が必要とされています。また、研究結果を学会等で発表する事がありますが、個人を特定する情報は公開されません

研究課題名	非有茎性大腸病変に対するレスキューUIEMRを組み込んだ Step-up UEMR 治療戦略の有効性及び安全性に関する後ろ向き研究
研究責任者	消化器内科 吉田 晃紘
本研究の目的	浸水下内視鏡的粘膜切除術 (UEMR) は、非有茎性大腸病変に対する治療法として広く行われています。一方、視野不良やスネアスリップなどにより、スネアリングおよび十分な切除マージン確保が難しい症例があります。当院では、UEMR が手技的に困難と判断された場合に、浸水下局注併用内視鏡的粘膜切除術 (UIEMR) へ切り替える Step-up 戦略を用いています。本研究は、この Step-up 戦略の治療成績と安全性を評価することを目的とします。
他の研究機関	本研究の対象データは市立大森病院で取得された診療情報のみを用います。
対象期間	2024 年 9 月 1 日～2025 年 9 月 30 日
研究の方法 (対象となる方)	上記期間に当院において、10-20 mm の非有茎性大腸病変に対して UEMR を施行された患者様を対象とします。また、手技中に技術的困難が認められた場合に、UIEMR へ切り替えて治療が行われた患者様も含まれます。
研究の方法 (利用する情報)	本研究では、診療録 (電子カルテ) 等に記録された、以下の情報を利用します。年齢、性別、抗血栓薬使用の有無、病変の情報 (部位、サイズ、肉眼型など)、内視鏡所見 (接線視野の有無、ひだとの位置関係など)、治療内容 (UEMR 単独か、UIEMR へ移行したかなど)、治療成績 (技術的成功、合併症、手技時間など)
個人情報の取り扱い	本研究で氏名、住所、電話番号などの個人を直接特定できる情報は利用しま

	<p>せん。データは個人が特定されないよう管理した上で解析します。研究結果を学会や論文等で公表する場合がありますが、その際も個人が特定されることはありません。本研究は市立大森病院倫理審査委員会の承認を得て実施しています（承認番号3）。</p>
<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>本研究への情報利用を希望されない場合は、下記連絡先までご連絡ください。ご連絡をいただいた場合には、当該患者様の情報は解析対象から除外いたします。</p> <p>担当者： 消化器内科 吉田 晃紘 電話： 0182-26-2141</p>